

平成29年度第1回新居浜市政策懇談会議事録

○日 時 平成29年8月3日（木） 19:00～19:45

○場 所 市役所5階大会議室

○委員の出欠 出席36名（代理出席3名含）、欠席4名

○会議次第

1. 開会

市長あいさつ

委員委嘱状交付

2. 議事

(1) 平成29年度政策懇談会の進め方について

(2) 新居浜市総合戦略の進捗状況について

(3) その他

1. 開会

事務局： 定刻がまいりましたので、ただ今から「平成29年度 第1回 新居浜市政策懇談会」を開催いたします。

本日は委員の皆様方にはご多忙にもかかわらず、ご出席をいただきまして、ありがとうございます。私は、事務局を務めます総合政策課の亀井と申します。

それではまず、開会にあたりまして、石川市長から御挨拶を申し上げます。

石川市長： 開会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

委員の皆様方におかれましては、大変お忙しいところ、また、お暑い中、政策懇談会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本懇談会につきましては、市政の運営のスローガンとして掲げております「笑顔輝く新居浜市一夢をかたちにチーム新居浜」を推進していくため、市民の皆様をはじめ、企業、団体、行政がチーム新居浜として一体となって、市政課題等に取り組んでいくことを目的に、平成25年度に設置させていただきました。

政策懇談会では、平成25年度は「コミュニティの再生」と「経済の再生」、平成26年度は「コミュニティの再生」、「経済の再生」に、「健康都市づくり」と「教育力の向上」を加え、また、平成27年度は「第5次新居浜市長

期総合計画の見直し」と「地方創生」、そして昨年度は、政策懇談会からのご提言を受けて具現化いたしました事業の成果検証について、委員の皆様を始め、ワーキンググループに参加していただくなど、多くの市民の方にご協議いただき、貴重なご意見として、ご提言いただいております。本懇談会設置から、早いもので、5年目を迎えたところでございます。

現在、私は、二期目の公約といたしまして、「安全で快適に暮らせる都市の実現」をはじめとした、7つの夢の実現を掲げ、引き続き、「チーム新居浜」で、市民の誰もが幸せを実感できる「笑顔輝く新居浜市」の実現を目指して取り組んでいるところでございます。

特に、昨年度に策定したシティブランド戦略に基づきまして、新居浜市の魅力を全国に発信していくことで、新居浜に住んでいる方に今以上に愛着と誇りを感じてもらい、これからも住み続けたい、いったんは離れたとしてもまた帰ってきたいと思っておりますとともに、市外・県外の方にも新居浜市へ行ってみたい・移り住んでみたいと思っております。と考えているところでございます。

そのための合言葉が「Hello! NEW (ハローニュー) 新居浜」です。

新居浜の歴史を誇りとし、これまでの魅力をさらにあたらしく磨いていくこと。今までにない新しい魅力を生み出していくこと。この2つの「新しい」を「チカラ」に変え、前向きにチャレンジすることによって、市民みんなが主役。みんなが誇れる。そして、みんなに愛される。

そんな新居浜を市民のみなさんと一緒につくってまいりたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、市民と行政が一緒になって、未来のあたらしい新居浜をつくる活動を進めていくため、引き続き、様々な角度からのご意見、ご提言をいただき、市政運営がより良い方向へ進んでまいりますよう、ご支援、ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

事務局 : 本懇談会は、委員任期を2年と規定しておりまして、平成29年6月をもって、前回のご就任から2年の任期が満了しましたことから、この度、任期満了による委員改選がありました。つきましては、ここで委嘱状の交付を行わせていただきます。委員を代表して、新居浜市民生児童委員協議会 石井孝允(いしい たかよし)様に市長より委嘱状を交付いたします。石井様 前にお願いたします。

(委嘱状交付)

事務局： なお、その他の委員の皆様の委嘱状につきましては、時間の都合上、あらかじめ皆様のお手元にお配りさせていただいております。簡略となりますが、これを持ちまして交付に代えさせていただきます。委嘱状のご確認をお願いいたします。

次に、議事に入ります前に、本日欠席されております委員は、新居浜市社会福祉協議会 鈴木委員さん、新居浜市中心身障害者（児）団体連合会 関委員さん、新居浜市観光協会 畑田委員さんにつきましては、所用のため欠席とのご連絡を受けております。ご了承をお願いいたします。

また、新居浜市農業協同組合 福本委員さんの代理で黒瀬様、新居浜市PTA連合会 藤田優委員さんの代理で大西様、愛媛県建築士会新居浜支部 宮崎委員さんの代理で白石様 にご出席いただいております。

次に、オブザーバーの皆様をご紹介させていただきます。松山大学経営学部教授の東淵（とうぶち）則之先生、愛媛大学地域創成研究センター、法文学部准教授の佐藤亮子先生、また、本日、公務のため、ご欠席されておりますが、聖カタリナ大学人間健康福祉学部准教授の釜野鉄平先生の3名の先生方が、前回に引き続きまして、ご就任いただいております。ご多忙の中、本当にありがとうございます。本日はよろしくをお願いいたします。

それでは、これより議事に入りますが、本会議は、新居浜市政策懇談会設置要綱第3条第2項に基づき、会長および副会長は委員の互選により定めるものとされております。どなたか選出についてご意見はございませんか。

白石委員： 事務局に案があれば、お示しいただきたい。

日野委員： 事務局案で。

事務局： ただいま、白石委員さん並びに日野委員さんからご意見をいただきましたが、事務局案をお示しすることよろしいでしょうか。

（異議なし）

事務局： それでは、会長には、商工会議所会頭の曾我部委員さんをお願いし、副会長には、前回に引き続きまして、新居浜工業高等専門学校校長の迫原委員さんと、新居浜市食生活改善推進協議会会長の秦委員さんをお願いしたいと思います。皆様いかがでしょうか。

(異議なし)

事務局 : ありがとうございます。それでは、会長さん、副会長さん、それぞれ所定の席にお移りください。

(会長、副会長、席移動)

事務局 : それでは、曾我部会長さんからご挨拶をいただきたいと思います。

曾我部会長 : 皆さん、こんばんは。この度、指名いただき、会長に就任いたしました、新居浜商工会議所の曾我部です。同じく、就任いたしました、迫原副会長・秦副会長ともによろしく申し上げます。

さて、このたびの任期満了による委員改選で、引き続き、委員にご就任いただいている方、新たに委嘱された委員の方といらっしゃると思いますが、委員の皆様には、ぜひ、それぞれの専門的見地から、また、自由な発想をもって、忌憚なくご意見いただき、市長がおっしゃられる、「チーム新居浜」の一員として、政策懇談会としての提言を取りまとめていけますよう、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

事務局 : ありがとうございました。それでは、今後の会議進行につきましては、曾我部会長さんをお願いします。

2. 議事

曾我部会長 : それでは、議事次第に従いまして、進行いたします。

まず、議事1「平成29年度政策懇談会の進め方について」です。原企画部長から説明をお願いします。

原企画部長 : (資料により説明)

曾我部会長 : ありがとうございました。

ただいま、原企画部長から平成29年度の政策懇談会の進め方について説明していただきましたが、何かご質問はございませんか。

(質疑なし)

曾我部会長： ないようでしたら、平成29年度は、ワーキンググループを設置し、ワーキンググループで協議しました市長公約である「7つの夢の実現」を推進するための提言案につきまして、本会において審議して行くことといたしたいと思います。

では、次に議事2「新居浜市総合戦略の進捗状況について」に移りたいと思います。

引き続き原企画部長からご説明をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

原企画部長： (資料により説明)

曾我部会長： ありがとうございます。「新居浜市総合戦略」につきましては、策定にあたり、平成27年度の政策懇談会のテーマとして取り上げ、協議したこともありますので、特に当時から委員を務められている方々にとりましては、その進捗状況に関心もあることと思われませんが、なにかご質問、ご意見等はございませんか。

井原委員： KPI（重要業績評価指標）がどのようなものなのか解りづらいので、次の機会にもう少し解りやすい資料などをいただければと思います。

原企画部長： もう少し解りやすい参考資料をご用意させていただきます。

曾我部会長： 資料は次回でよろしいですか。

井原委員： はい。

曾我部会長： ほかになにかございませんか。

ないようでしたら、市におかれましては、本日出された意見などを参考に、今後も総合戦略の着実な遂行をお願いします。

それでは、最後になりますが、今後の活動内容など、どんなことでも結構ですので、ご意見、ご質問等がございましたら、お伺いしたいと思います。なにかございませんか。

合田委員： 3つ意見があるのですが、まず一つ目は、人口減少をいかに食い止める

かということで、以前も申し上げましたが、保険料を無料にしてほしい。若者の貧困率というのは、かなり深刻なものがありまして、子ども一人を産み育てるという力が無くなっているの、結婚して収入が200万円の家庭のところ、0歳児の子どもを預けると5万円取られるということであれば、もう子供を産まない。そうすると、人口減少は明らかです。親の収入が少なくなっているという現状から考えて、保育料を安く、無料化するということを考えてほしい。新居浜市は他の市町と比べてすでに保育料は相対的に高くなっています。少なくとも、他の市町と同列にしなければ、新居浜市の人口は逃げてしまいますので、考えてほしい。それから、前回の政策懇談会で申し上げましたが、JASRACの管理料を新居浜市で負えないかということをお願いしましたが・・・

曾我部会長： すみません、個別の案件につきましては、ワーキンググループで議論を行っていただいて、最終的に政策懇談会で審議することになります。

合田委員： なんでも意見していいのではないのですか。

曾我部会長： 本日の議事は、「平成29年度政策懇談会の進め方について」と「新居浜市総合戦略の進捗状況について」ですので、個別施策につきましては、ワーキンググループを通して議論を行っていくというのが、本来の筋であると思います。よろしいでしょうか。

日野委員： 意見としてお聞きするというところでどうでしょうか。

曾我部会長： はい。そのほか、政策懇談会の進め方、進捗状況の説明等について、何かご意見はありませんか

ほかにないようでしたら、ここで、本日懇談会にご出席いただきましたオブザーバーの皆様からご意見、ご助言をいただければと存じます。

どなたからでも結構ですので、お願いいたします。

東淵教授： 松山大学の東淵でございます。

総合戦略も、順調に進捗しているというように、説明をお聞きして感じました。また、7つの夢の実現に向けて、ワーキンググループを設置し、まさに、チーム新居浜として今後進められようとしていることは、素晴らしいことだと感じました。進め方という観点で、一点、勘案していただければと思うことは、新居浜市が今後発展するかどうかというのは、若者に

とって魅力がある新居浜市にできるかどうかということではないかと思
います。ワーキンググループで意見を集約させる段階で、若者のアイデア、
意見を忌憚なく聞いていただけるような仕組みを盛り込んでいただけれ
ば、より、チーム新居浜、一致団結して知恵を出し合い、よりいいものを
生み出せるのではないかと考えています。

佐藤准教授： 愛媛大学の佐藤です。

政策懇談会のオブザーバーとして参加させていただいて、今年で3年目
かと思いますが、すでにこの会が5年も続いているということに、まずは、
敬意を表したいと思います。このような会は、とても大事な場であると思
います。市民参加、市民参画と言われますが、市民がドライブ、動かす、
ということですが、市民自身が自分たちのまちづくりを動かしていくとい
うことが、重要になっていくと思います。特に、災害などがあつたりした
際に、どうやって自分たちのまちが、一日も早く回復し、日常に戻ること
ができるかということが、関わっている方々の力にかかってきます。政策
懇談会の中で、皆さんのご意見が政策に反映するという事は、とても重
要なことですし、そのような場所を設けていらっしゃる新居浜市は素晴ら
しいことだなと思っています。総合戦略の取組の98%が実施されており、
あと2つ実施されてない中で、若者向けの娯楽施設・レジャー施設の誘致
についてですが、東淵先生がおっしゃるように、若者の声を聴いてあげて、
どのような施設にしていくのかということを考えていただきたいと思
います。総合戦略を策定した際の説明のパワーポイントに参考として出され
ていた写真が、ラウンドワンの様な施設の写真が掲載されていましたが、
私はこれはちょっと違うな、と考えております。若者が住みたくなくなると
いうのは、新居浜市が考えているのは、市外から移住されてくる方、又は、
企業で働く方が家族で住む、ということを考えていると思います。今
の若者、これからの若者が、どういったものが欲しいと考えているかとい
う声を聴いてほしいと思います。現在、この取組については未着手とい
うことで、ほっとしたような気持ちですが、これから、期待したいと思
います。この後、ワーキンググループでいろいろ議論されることというこ
とです。どんどん新しい意見を提案していただきたいと思っています。今後
も期待しております。

曾我部会長： 貴重なご意見、ありがとうございます。いただきましたご意見につ
きましては、今後の活動に活かしてまいりたいと思います。

それでは、最後に事務局から次回の懇談会について説明をお願いします。

事務局： 次回、2回目の政策懇談会は11月下旬から12月上旬頃に予定いたしております。2回目の懇談会までの期間に、ワーキンググループを設置し、3回程度ワーキンググループを開催していただくこととなりますが、ワーキンググループにつきましては、会の中でご説明させていただきましたとおり、座長を本懇談会の委員をもって充てることとなっております。座長をお願いすることになります委員の方には、後日、各担当事務局から、改めましてご依頼申し上げますので、よろしく願いいたします。また、ワーキンググループのメンバーの選出をご依頼させていただくこともあろうかと思っておりますので、その際には、お手数をおかけいたしますが、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

曾我部会長： ただいまの事務局からの説明につきまして、何かご質問等ございませんか。ないようであれば、最後に市長から一言お願いします。

石川市長： 大変暑い中、また、狭い会場で申し訳ございませんでしたが、ご審議いただきまして、本当にありがとうございました。先ほど、オブザーバーの先生からお話がありましたけれど、若者の意見を集約していく必要があるのではないかとありますが、私も同様に考えております。ワーキンググループも可能な限り、若い、これからの新居浜市を担う、そういう方を選んでいただければと思っておりますので、ご協力のほど、お願いします。冒頭にも申し上げましたが、地方創生、地域間競争が厳しくなっております。そのような中で、新居浜市におきましては、市民の皆様にも、まず、新居浜市に愛着を持ってもらい、そして、新居浜市の魅力を全国に発信し、新居浜市の知名度、認知度を高めていきたい、そのために先ほど申し上げました「Hello!NEW 新居浜」を合言葉に、各施策に積極的に取り組んでまいりたいと思っておりますのでございます。政策懇談会の委員の皆様には、様々な角度から様々なご意見をいただきまして、チーム新居浜の一員といたしまして、市民の誰もが幸せを感じられるような、新居浜市の実現にご協力いただければと考えておりますので、引き続き、よろしく願いいたします。

3. 閉会

曾我部会長： ありがとうございました。以上を持ちまして、本日の懇談会を終了いたします。委員、オブザーバーの皆様には長時間にわたる熱心なご審議をいた

だきまして、ありがとうございました。